



すべてが1点もの、焼き締めて作られる褐色の碗や皿



花山湖が一望できるギャラリーには近作の展示も



土に生命を吹き込む瞬間

**どこにいても無理していれば続かないし、
自然に何ができるかを考えることだと思いますよ。**

修二さん「岩手で修行していて、栗原には釣りで遊びに来ていました。その時から独立するなら栗原にしようと考えていました。」

奥さん「よく聞かれるんです。『どこで買い物するんですか?』とか。

でも、どこにいてもなんでも手に入る時代ですからね。

あと 近所の人との付き合いも、どこにいても変わらないと思うんです。

どこにいても無理していれば続かないし、自然に何ができるかを考えることだと思いますよ。」



移住者: 工藤修二さん(64歳)

職業: 陶芸家

家族: 妻・義母

移住歴: 25年

移住前の住所: 岩手県一関市藤沢町

動画はこちら!



この後、釉薬をかけず4日間にわたり成形した土の器を焼き締める